

研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 5 7	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳) Moderate alcohol consumption increases insulin sensitivity and <i>ADIPOQ</i> expression in postmenopausal women: a randomised, crossover trial. 閉経後の女性において中程度のアルコール摂取がインシュリン感受性と <i>ADIPOQ</i> の発現を増加させる：無作為化交差試験	
執筆者 Joosten MM, Beulens JW, Kersten S, Hendriks HF.	
掲載誌 (番号又は発行年月日) Diabetologia. 2008 Aug;51(8):1375-81.	
キーワード アルコール摂取、インシュリン感受性、アディポネクチン、閉経、女性	
要 旨 <p>閉経後の女性で、6週間、毎日、中程度のアルコール摂取を行った場合にアディポネクチン遺伝子 (<i>ADIPOQ</i>) の発現、血漿中のアディポネクチン量が増加するか、インシュリン感受性の改善が見られるかを調べた。オランダで習慣的にアルコール摂取を行っている36名の健康な閉経した女性を用い、無作為化交差試験を行った。6週間、毎日、250mlの白ワイン (~25gアルコール/1日当たり) か、250mlの白ブドウジュースを夕食時に摂取してもらった。この結果、白ブドウジュース摂取に比べ、白ワイン摂取で空腹時インシュリンとインシュリン抵抗性を示すHOMA-IRが減少していた。<i>ADIPOQ</i> mRNAと血漿のトータル及び高分子量アディポネクチンは、白ブドウジュース摂取に比べ、白ワイン摂取で有意に増加していた。白ワイン摂取で空腹時のトリアシルグリセロール、LDL・コレステロールは減少し、HDL・コレステロールは増加していた。以上より、閉経後の女性において中程度のアルコール摂取がインシュリン感受性、アディポネクチンレベルや脂質指標を改善することが示唆された。</p>	